



こさかだより Vol.2



千葉市議会議員 小坂 さとみ 令和2年第1回定例会報告書 2020.03発行

一みなさまの健康で豊かな生活のために! 3月定例会一般質問のご報告一

近年、福祉分野と農業分野が連携した「ノウフク連携」(農福連携)の取り組みが各地でさかんになっています。平成28年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」では、障害者が希望や能力、障害の特性に応じて最大限活躍できる環境を整備するため、ノウフク連携の促進が盛り込まれています。国のこのような動きを受け、千葉市の取り組みについて、質問をしてみました。

ノウフク連携とは?

市の回答 「農における課題」・「福祉(障害者等)における課題」双方の課題を解決しながら、双方にメリットのあるWIN・WINの取り組みです。



ノウフクの **福** と対象される人

障害者

引きこもり

生活困窮者

■特に障害者の方々の課題は? — 〈市の回答〉 ・就労場所が少ない ・収入が低い ・社会との接点がない

なぜ「農」なの?

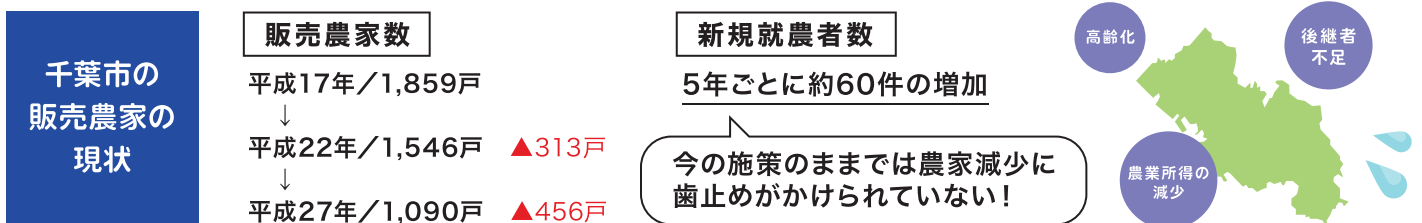


市の回答

高齢化、人手不足の農業において、障害者の方々が農現場の貴重な働き手となる期待。障害者の方や生きにくさを感じている方にとって、農という自然の場を通して**生きがいの創出**や**社会との接点**を作り生活の質の向上を期待。

■本市の農業における現状 ————— 既存農家は5年ごとに、なんと **約400件減!!**

平成17年に1,859戸だった【販売農家】は令和2年の【15年】後には、900戸と**半分以下**になる可能性大!



既存農家の減少に対し、新規就農者の増加は、**圧倒的に追いついていません**。今の施策のままでは、農家減少に歯止めがかけられておらず、新しい取り組みが必要。**ノウフク連携**はそのひとつの手になるかも!

日本の障害者についての現状

●障害者人数と実情 厚生労働省の報告(平成28年度3月)

障害者総数(788万人)▼

18歳~64歳の在宅者数(324万人)

障害者福祉サービスで
就労/就労訓練中(約32万人)

障害者の就労場所
工賃アップ
社会との接点づくりは
必須!

●就労継続支援B型事業所の月額平均工賃

全国平均	16,118円
千葉市	11,628円
徳島県	22,235円

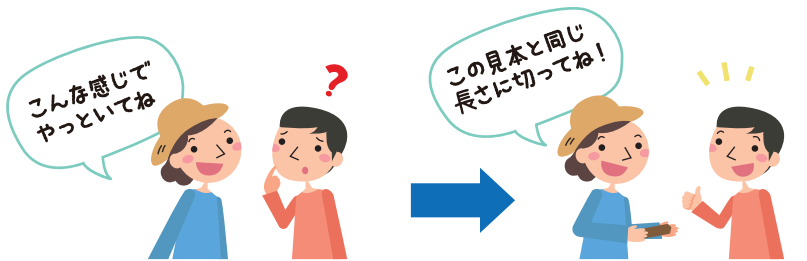


徳島県でノウフク連携に取り組むB型事業所は、**2万6千円を実現!**就労に農業を取り入れると工賃が**アップ**することを実証している。

ノウフク連携の導入効果

《農家の実例》

今までアバウトに流れていた作業を**明確化・マニュアル化**したことで、指示を誰もが**理解**できるように。



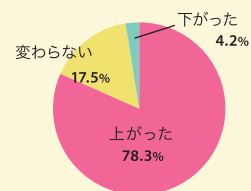
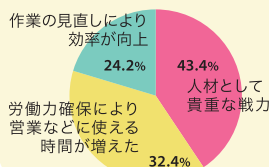
その結果

- ・作業がスピードアップ!
- ・製品の質が良くなった

なんと
売上げが
6倍に!

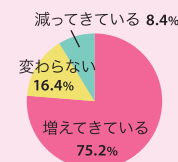
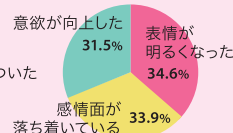
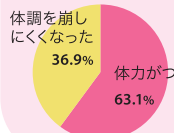
■農業者向け■

《障害者受入れについて》 《5年前と比較した年間売上額》



■福祉向け■

《身体面・健康面》 《精神面・情緒面》 《賃金・工賃の増減》



ノウフク連携を広め・進めるためには?

小坂 さとみの
提案

サポート体制の充実→

農と福のマッチング・コーディネート

農水省の助成金取得援助

たとえば
こんな
取り組みは?

「チバベジ」が支援する農産物を手づくり総菜や加工品にし、ノウフクJAS認定を受けて販売。 **社会貢献**や**安心、安全、地域性**という視点で価値が高まる。

ノウフク
JAS
とは?

国内市場に出回る食品、農産物の品質や成分などが一定基準を満たしたものに付く国家規格に、ノウフクの価値を付与したものです。

チバベジ
とは?

フードロスなくすことを目的とし、規格外の農産物を流通させること、台風などの被害で流通不可となった野菜の販売支援を行っています。

《小坂の質問》

ノウフクJASは千葉市が取り組む「食のブランド化」に社会性と信頼性を高めるツールになると考えるが、その見解は?

《市の見解》

ノウフクJASと持続可能なコンセプトは共通していることから、ひとつのツールとなる可能性はある。

実は“まち”にイノベーションを生む ～まちの経済を潤すかも?～

浜松市の実例 〈みなさまの声〉

- ・実際に取り組んでみると、思った以上の結果を出し、むしろ障害者の使命感や責任感は素晴らしい。
- ・障害者がひとり農園にやってくると、農園の中に新しい変化が起こり、新しいものが一つ誕生する。
- ・今まで、機械は、スピードを重視するものでした。しかし、それとは逆の発想に触れることで、自社自身のイノベーションに役立っている。また、人にあわせて「ゆっくり動く機械づくり」を依頼されたことで、「人を減らすため」ではなく「人を生かす」機械づくりという視点に【大切】なことを学んだ。
(農作業を効率化する機械の製造依頼を受けている機械製作会社のコメント)



かつて障害者雇用には不安などのネガティブな受け止め方が多くありました。

障害者や福祉が産業の中で負担となるのではなく、プラスとなる**まちづくりのデザイン**をしていくことが私たちの住む地域、社会を**持続可能**にするためにとても大切な取り組みだと確信します。

まだ、地域農家さんからは「ノウフク連携は聞いたことがない」または「取り組み方がわからない」とのお声、福祉事業者さんからは「ぜひやらせてもらいたい農家さんと繋がる方法がわからない」とのお声をお聞きします。現場の声に耳を傾け、千葉市においてノウフク連携の取り組みを加速していただけるよう行政にお願いするとともに、私小坂も市民のみなさまとの架け橋となり、**ノウフク連携を促進**するよう活動して参ります。

〈市政に関するご意見をお寄せください〉

【事務所】千葉市稲毛区柏台1-4-603

☎090-8534-8723

✉ sk.kosaka@gmail.com

http://www.kosakasatomi.com

